



小平二中だより

令和8年度 第4号

発行 令和8年7月1日

小平市立小平第二中学校

校長 伊藤 克行



「AI の答え」と「私たちの生きる現実」

校長 伊藤 克行

先日、世間を大きく揺るがすニュースがありました。プロ野球・読売ジャイアンツの阿部慎之助監督が、実の娘さんへの暴行容疑で逮捕され、監督を辞任するに至ったというものです。

まず大前提として申し上げなければならないのは、いかなる理由があろうとも、親から子への暴力、児童虐待は決して許されることではない、ということです。今回の法的な処罰や対応については当然のことであり、子どもたちの安心・安全を守ることは、社会全体の最優先事項です。

しかし、私がこの事件の報道の中で、もう一つ深く考えさせられた点があります。それは、18歳という成人になる娘さんが、父親からの暴力という極めて深刻な悩みに直面した際、「生成 AI (Chat GPT)」に相談し、その提示された回答通りに行動して児童相談所への通告（結果としての逮捕）に至ったという点です。

皆さんはこの事実を、どのように受け止められたでしょうか。

現在の生成 AI は非常に優秀です。悩みを入力すれば、法律やマニュアルに沿った「最も正しい、教科書通りの解決策」を瞬時に導き出してくれます。今回の場合も、AI は「家庭内暴力への対応策」として、マニュアル通りの完璧な正論（児童相談所への通告）を返したに過ぎません。しかし、ここに生成 AI の大きな落とし穴があります。

AI の判断は、あくまで「入力された条件」だけを元に計算されたものです。そこには、これまで何年間も共に過ごしてきた「父親と娘の歴史」、そして「本当に父親を逮捕させ、社会的な制裁を与えたかったのか」という、本人の複雑な心の葛藤といった「文字にできなかった大切な要素」が欠けていたのではないかと、疑問に感じてなりません。

ここで私たちがもう一步踏み込んで考えなければならないのは、「18歳の娘さんは、AI が出した『児相に通告する』という回答が、その後起こりうることを想像し、自分の人生において本当に正解なのかどうかを、判断できただろうか」という視点です。

今の時代、生成 AI を「使うこと」自体は誰にでもできます。しかし、本当に必要なのは、AI が導き出した回答が、今の自分や周囲の人々にとって本当に適切かどうかを見極め、判断する力です。どれほど便利な道具があっても、それを使う人間に「判断力」がなければ、道具に振り回され、現実の人間関係を修復不可能な形にしてしまうことすらある。そのことを、私たちは強く意識しておく必要があるのではないのでしょうか。

中学生の皆さん。皆さんの周りにも、スマホや AI が身近にありますよね。困ったとき、ネットや AI に頼れば、すぐに「答えらしきもの」が見つかる時代です。

しかし、AI が出した「正しいデータ」が、必ずしもあなたや周りの人にとっての「最善の幸せ」になるとは限りません。AI を使うときに一番大切なのは、「この答えは本当に正しいかな?」「これを実行したらどうなるかな?」と、一度立ち止まって自分の頭で考える力です。もし、人生を左右するような大きな悩みにぶつかったときは、どうか画面の中の AI の答えだけで決めず、身近な「生身の人間」に相談してください。人間は AI のように瞬時に完璧な正論は言えないかもしれないけれど、あなたの表情を見つめ、一緒に悩み、AI には見えない「あなたの背景」まで一緒に考えてくれるはずですよ。

そして保護者の皆様。これからの時代を生きる子どもたちに必要な力の一つは、溢れる情報や AI の回答を「正しく見極める判断力」です。子どもたちが困ったとき、AI の画面に向かう前に「保護者の方はどう思う?」「先生はどう思う?」と、まず大人の知恵や経験を求められるような、安心できる関係を日頃から作っていきたいものです。本校の生徒が本当に困ったとき相談してもらえる教師であるか、学校であるか、という問題を今回の事件を通して突き付けられたように感じました。

便利な時代だからこそ、情報に振り回されない「確かな判断力」と、人間にしかできない「心と心の対話」の大切さを、いま一度子どもたちと共に考えてまいりましょう。

輝いた7色の心 ～RIKUTAI～

今年度の RIKUTAI は、「燃志挑戦～起こせ炎色反応 輝く 7 色の心～」のスローガンのもと、実行委員を中心に生徒一人一人が主体的に取り組み、大きな成果を収めました。競技や応援、係活動、ボランティアなど、それぞれの場面で自分の役割を果たそうとする姿が数多く見られました。学年や学級の枠を超えて互いを励まし合い、勝敗だけにとらわれず、仲間と協力して最後まで全力で挑戦する姿は印象的でした。その姿はまさに、「輝く 7 色の心」を体現していました。この RIKUTAI で培った挑戦する心や仲間を思いやる心を、今後の学校生活にいかし、さらに大きく成長していくことを期待しています。



こだいら特活の日

1 学年は「クラスにとって最高の合唱コンクール」というテーマについてダイヤモンドランキングを用いて考えました。2 学年は「クラスに必要な〇〇力」について班やクラス全体的話合いの中で考えました。3 学年は「修学旅行のコース」について各班内でプレゼンをして合意形成を図りながら決めました。ご参観いただきありがとうございました。午後には、さん() さん() が小平第二中学校区の代表として小平市の児童会生徒会サミットに参加しました。他校区が本校区への取組に興味をもち、今後の取組に活用したいなど、小平市の小中学校の取組がつながり、より活性化するサミットとなりました。

【生徒の活躍】

【バドミントン部】

小平市第64回春季シングルス大会
男子一般1部 優勝 (3年)
女子中学生の部 優勝 (3年)
準優勝 (3年)
令和8年度東京都中学校バドミントン
第8・10地区選手権大会
男子シングルス 第3位 (3年)
第3位 (2年)
女子ダブルス
第3位 (3年)・ (3年)

【卓球部】

第10ブロック夏季大会(男女シングルス)
第3位 (3年) 第5位 (2年)
ベスト16 (2年)
第10ブロック夏季大会(男女団体)
女子団体 第3位 男子団体 第5位

【女子バスケットボール部】

101 地区夏季選手権大会
vs 多摩辺中 100-20 ○、vs 小平四中 62-32 ○
vs 国分寺一中 70-60 ○、vs 立川二中 56-65 ●
優秀選手賞

【テニス部】

令和8年度 東京都中学校体育連盟テニス部
第8ブロック大会
女子団体 優勝 男子団体 第3位

【女子バレーボール部】

令和8年度第10ブロック中学校選手権大会
優勝(都大会出場)

【サッカー部】

夏季選手権大会10支部予選
VS 小金井南中(4-1)勝 グループリーグ1位突破

【陸上部】

第77回東京都中学校地域別陸上競技大会
男子東部共通 4×100mR 46秒75
(全員3年) 通信・総体大会出場決定
男子東部3年100m 11秒99 (3年)
通信・総体大会出場決定

【吹奏楽部】

RIKUTAI 開会式・閉会式演奏

【7月の主な行事】

日	曜	行 事
1	水	専門委員会・中央委員会
2	木	避難訓練
3	金	保護者会(1)⑥カット
6	月	生徒会朝礼(TV) 保護者会(G)
8	水	⑤カット(1,2,G,S) 校内研修会(3年授業公開)
10	金	保護者会(2)⑥カット
15	水	⑤セーフティ教室
16	木	大掃除⑥カット・給食終 学年集会②1年、③3年、④2年
17	金	終業式 安全指導
21	火	夏季休業日始・三者面談始 夏季補習教室始 緊急初動要員訓練
28	火	三者面談終 夏季補習教室終